

# 議会だより



11月定例会市議会の予定	日程	内容
	11月29日(金)	開会
	12月5日(木)	一般質問
	12月6日(金)	一般質問
	12月9日(月)	一般質問
	12月10日(火)	一般質問・質疑
	12月11日(水)	委員会
	12月12日(木)	委員会
	12月13日(金)	委員会
	12月20日(金)	閉会

※各日午前10時開始予定です。

<b>特集①</b>	民生委員児童委員協議会との意見交換会	2ページ
<b>特集②</b>	つどいの広場 視察レポート	3ページ
<b>特集③</b>	新庁舎建設現場現地調査	3ページ
<b>主な内容</b>	9月定例会市議会	4ページ
	一般質問	6ページ
	委員会活動報告	12ページ
	総社市議会によるこそ!	16ページ

広聴広報委員会は7月8日、総社市民生委員児童委員協議会と意見交換会を行いました。日頃から地域のために活動されている皆さんから、現在抱えている問題や今後の課題などを「広聴」しました。

他の団体の例に漏れず、担い手不足は共通の問題です。一期のみで辞められる方も多く、背景には高齢化や福祉施策の充実に伴う職務の増加もあるように思われます。厚生労働省は地域外の者でも民生



川田会長をはじめとする委員の皆さん

委員・児童委員になれるよう要件を緩和する方向で議論をしています。また、地域住民に密着した民生委員・児童委員の仕事は、地元の者にしか務まらず根本的な解決にはならないのではないかと考えられています。また、情報が得られなくても行政の適切な部署につながりにくい、組織体系をしっかりとりたいとの意見も挙がりました。担当課に確認したところ、現在は24時間連絡を受け付けており、その後適切な機関につながるようになっていくとのことでした。

そのほかにも民生委員・児童委員に直接関係するもの、しないものを含め、地域から挙がっている多くの声を聞かせていただきました。時には専門ではないことであっても多岐にわたり相談を受け、解決に向けて尽力いただいている皆さんには、議会としても感謝の気持ちがあります。



高谷委員長以下、広聴広報委員

冒頭にも触れた通り、民生委員・児童委員は担い手の確保に苦慮しています。大変な仕事である一方、地域になくてもならない存在であるため、やりがいや魅力を感じている委員さんも多いと聞きます。

広聴広報委員会は今回いただいた意見をしっかりと精査し、議会として解決策を講じ広報していくことで、民生委員児童委員協議会の活動がより一層充実するよう努めてまいります。

(荒木将之介)

### 民生委員・児童委員とは

厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員で、無報酬のボランティア。それぞれの担当地域で、住民の実態や福祉ニーズを把握するための見守り、地域住民が抱える課題の相談、またそれらから得られた情報を行政や社会福祉団体等につなぐといった活動を行っています。常に住民の立場に立ち社会福祉の増進に取り組む民生委員・児童委員は、地域になくてはならない存在です。

文教福祉委員会  
所管事務調査

## つどいの広場 現地視察

前回の地域子育て支援センターに続き、文教福祉委員会では8月19日・26日に市内4か所の「つどいの広場」への視察を行い、現状や課題の聞き取りを行いました。



**【つどいの広場について】** 妊婦さんや、0歳からおおむね3歳の親子の交流はもちろん、子どもたちが安全に楽しく遊べる場所です。(QRコードから各つどいの広場の情報がご覧になれます)



### なかよし広場 こっこ (きよね夢てらす内)

遊びだけでなくきよね夢てらすを訪れる多世代の方との交流や、双子ちゃん会などの独自の取組も聞かせていただきました。また駐車場の課題についても共有をしました。



### なかよし広場 ぴよこっこ (天満屋ハッピータウンリブ総社店内)

最大の特徴である商業施設内に位置することから、買い物ついでに気軽に立ち寄れるところです。最近では外国にルーツのある方々の利用もあり、多言語対応の課題もあがりました。



### チュッピーひろば (岡山県立大学内)

出張ひろば型であるにもかかわらず多数の方の利用があり、岡山県立大学子ども学科の先生方から「県大そうじゃ子育てカレッジ」の様々な取組も聞かせていただきました。



### ちびっこ広場 (山手保健センター内)

この日はカンガルー広場が開催され多くの方でにぎわっていました。近くの地域子育て支援センターとの連携や、発達が気になる方の相談支援などの取組もされていました。

以上の調査も踏まえ、さらに今後の文教福祉委員会にて調査及び協議をしてまいります。(山名 正晃)

総務生活委員会  
現地調査

## 総社市役所新庁舎建設現場現地調査を実施



総務生活委員会にて令和6年2月6日(火)に続き8月6日(火)新庁舎建設現場の現地調査を行い建設工事の進捗状況等調査を実施しました。工事の進捗については庁舎棟6階、議会棟3階の外棟部分が出来上がり、現在内部の工事に取り掛かっています。

完成予定は、当初の予定(令和7年1月)より1カ月遅れ令和7年2月になります。(森安 健一)

## 令和5年度決算を認定 一般会計3億7千万円の単年度黒字

### 9月定例市議会

新庁舎の「書かない」「待たない」「回らない」「ワンストップ窓口」。  
難聴高齢者の補聴器購入費の一部を補助。

9月定例市議会が9月2日に開会し、報告2件・議案23件・認定8件・意見5件・請願2件の審査を行い、9月27日に閉会しました。

○新庁舎建設に伴う机・椅子等の指名競争入札を行い契約として約6千9百万円。(予定価格が2千万円以上であることから議決が必要)

○高機能消防指令センター・消防救急デジタル無線システム整備業務委託費用として約9億7百万円。(予定価格が1億5千万円以上であることから議決が必要)

費用として564万2千円。  
令和5年度決算認定および基金積み立てについて  
○決算の末、令和5年度一般会計は歳入歳出を差し引き、翌年度への繰り越しも引いた上での実質収支額は、約3億7千万円の黒字となりました。  
各基金へ積み立てました。  
○高木聖鶴・聖雨基金に2百万円。  
○美術博物館施設整備事業基金に5千万円。  
○教育施設整備事業等基金に1億円。  
○子育て王国そうじゃ基金に51万円。  
○財政調整基金に1億円。  
一般会計・特別会計ともに認定しました。  
意見について  
○人権擁護委員として中島真氏、梶谷美奈氏、菊池玲子氏、近藤義彦氏、上野覚氏の5名の推薦があり同意しました。  
○教職員定数改善と義務教育費国庫負担率引き上げに係る意見書採択の請願について

### 議長交際費執行状況

「総社市議会議長交際費の支出基準及び公表に関する要綱」に基づき、議長の交際費の執行状況を公表します。

【令和6年7月～令和6年9月分】 (単位：円)

支出区分	支出年月日	支出金額	支出先等
募金	7/23	5,000	2024年国民平和行進
4月からの累計		15,000	

費国庫負担率引き上げをはかるための、2025年度政府予算に係る意見書採択と地方財政の充実・強化を求める請願を採択し意見書を提出しました。

## 令和6年9月定例総社市議会 付議事件採決一覧表

番号	件名	結果
報告第9号	令和5年度総社市健全化判断比率及び資金不足比率について	報告を受けた
報告第10号	地方自治法第180条第1項の規定による専決処分について	報告を受けた
議案第55号	財産の取得について	原案可決
議案第56号	財産の取得について	原案可決
議案第57号	財産の取得について	原案可決
議案第58号	工事請負契約締結の変更について	原案可決
議案第59号	工事請負契約締結の変更について	原案可決
議案第60号	委託契約の締結について	原案可決
議案第61号	岡山県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	原案可決
議案第62号	総社市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決
議案第63号	総社市心身障害者医療費給付条例の一部改正について	原案可決
議案第64号	総社市小児医療費給付条例の一部改正について	原案可決
議案第65号	総社市ひとり親家庭等医療費給付条例の一部改正について	原案可決
議案第66号	総社市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第67号	総社市教育復興子育て基金条例の廃止について	原案可決
議案第68号	総社市手数料条例の一部改正について	原案可決
議案第69号	総社市営住宅条例の一部改正について	原案可決
議案第70号	令和5年度総社市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決
議案第71号	令和5年度総社市工業用水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決
議案第72号	令和5年度総社市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決
議案第73号	令和6年度総社市一般会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第74号	令和6年度総社市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第75号	市道の路線認定について	原案可決
認定第1号	令和5年度総社市一般会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第2号	令和5年度総社市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第3号	令和5年度総社市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第4号	令和5年度総社市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第5号	令和5年度総社市国民宿舎事業費特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第6号	令和5年度総社市水道事業会計決算認定について	認定
認定第7号	令和5年度総社市工業用水道事業会計決算認定について	認定
認定第8号	令和5年度総社市下水道事業会計決算認定について	認定
意見第3号	人権擁護委員の候補者の推薦に関する意見を求めることについて	推薦に同意
意見第4号	人権擁護委員の候補者の推薦に関する意見を求めることについて	推薦に同意
意見第5号	人権擁護委員の候補者の推薦に関する意見を求めることについて	推薦に同意
意見第6号	人権擁護委員の候補者の推薦に関する意見を求めることについて	推薦に同意
意見第7号	人権擁護委員の候補者の推薦に関する意見を求めることについて	推薦に同意
請願第2号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担率引き上げをはかるための、2025年度政府予算に係る意見書採択の請願について	採択
請願第3号	地方財政の充実・強化を求める請願書	採択
議案乙第8号	地方財政の充実・強化を求める意見書について	原案可決
議案乙第9号	教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担率引き上げに係る意見書について	原案可決

**問** 避難所として、きびじアリーナへのエアコン設置の考えはどうか

**答** きびじアリーナと武道館にエアコンを設置したい



岡崎 亨一

**問** 清音・山手とか我田引水している場合ではない。合併後の検証はしないのか

**答** 検証し、次の第3次総社市総合計画に盛り込んでいく



萱野 哲也

市民と職員の熱中症対策について

**問** 市民の熱中症での救急搬送の状況はどうか。

**消防長** 9月6日時点で79名が搬送された。毎年平均70名が搬送されている。死亡者はここ5年間はいない。

**問** 職員の熱中症対策はどうか。対策費として予算化しているのか。

**市長** 消防、環境水道部は予算要求して対応している。建設部はできていない。予算化して対応する。

**問** 市内に熱中症対策としてのミストシャワー設備を設置してはどうか。

**市長** 設置主体がどこになるか見極めて考える。

災害対策について

**問** 地震火災予防での感震ブレーカー設置への補助制度の検討はその後どうか。

**市長** 今のところ考えていない。

RSウイルス感染症について

**問** 小児の市内のり患状況はどうか。

**市長** 小児は毎年約100名感染している。

**問** RSウイルスに特化した治療薬がない中で、高齢者のワクチン接種への助成を考えてはどうか。

**市長** 今は任意接種。国の定期接種になれば話は別だが、今のところ助成の考えはない。

市制20周年からの総社市の未来について

**問** 新市まちづくり計画は、合併後の清音や山手の福祉向上が総社市全体の福祉向上につながる計画でなければならない。

**市長** 過去「計画に夢や願いを載せた」と答弁している。願いは神社で、夢は寝てみる！では困る。この夢や願いを叶えるためにどんな努力をしたのか。

**市長** これまで清音・山手の代表者と相当やった。ガンガンに言われた。「なんでできないのか」と、責められっぱなし。夢をもってやってきたけどお金がなかったし状況も変わってきた。

**問** 新市まちづくり計画は、来年の3月で20年の期間が満了する。未実施の事業はどうするのか。

**市長** 清音・山手の地元と話をしていく。

**問** 具体的事業として、「林道黒田浅原線」「生涯学習センター」も未実施である。中途半端に道は進んでいる、用地も買収しているが計画期間が切れて「どうすんか分からん」では困るがどうか。

**市長** 地元と相談していく。

**問** 地元「いるのか、いないのか」と聞くだけではなく、今の財政状況も示して丁寧な説明をすべきだがどうか。

**市長** そのとおりだ。こちらが事実を伝えなければならない。

**問** 情報発信の方法として、今以上にデジタル化を推進してはどうか

**答** デジタルを駆使していかなければならないので、制度化・強度化していく



荒木 将之介

**問** 市民への情報発信はどのように行われているか。

**市長** アナログは広報そうじゃ、地域の回覧板、掲示板へのポスターなど。デジタルはホームページ、公式LINE、メールマガジン、インスタグラムやXなど。

**問** それぞれの情報伝達速度はどうか。

**市長** アナログは数日から10日。公式LINEは登録者に直接発信され瞬時。

**問** それらの方法で情報は伝わっているか。

**市長** アナログ・デジタルでそれぞれの不得意な部分を補完しあって100%に近い方法に近づきたい。

**問** 南海トラフ地震臨時情報発表時の情報発信はどのように行われたか。

**市長** デジタルについては翌朝の幹部会議までには発信済みで、さらなる周知を図った。さらにその翌日からは市内の各種団体を通じ一万枚のパンフレットを配布した。

**問** 全市民に行き渡ったと考えるか。

**市長** 頑張ったが全市民というわけにはいかなかったと認識している。

**問** 今後の災害を見据えた時、即時性を考え、よりデジタル化を推進してはどうか。

**市長** デジタルを駆使すべく、制度化・強度化していく。時間・労力・予算を割っていく。セグメント発信(対象者を地域や年齢で絞ることができる通知方法)も考える。



令和6年9月定例市議会では、9月6日(金)から9月10日(火)の3日間にわたり、市政に対する一般質問が行われ、11人の議員が諸問題について質問しました。発言順に掲載します。

1番	荒木将之介 議員	6ページ
2番	萱野 哲也 議員	7ページ
3番	岡崎 亨一 議員	7ページ
4番	山田 雅徳 議員	8ページ
5番	森安 健一 議員	8ページ
6番	仁熊 進 議員	9ページ
7番	三上 周治 議員	9ページ
8番	太田 善介 議員	10ページ
9番	頓宮美津子 議員	10ページ
10番	山名 正晃 議員	11ページ
11番	溝手 宣良 議員	11ページ

（一般質問のページは質問した議員本人の原稿に基づいています。）※QRコードを読み取ると各議員の一般質問の録画放送にアクセスできます。通信料は自己負担となりますのでご注意ください。

（一般質問のページは質問した議員本人の原稿に基づいています。）※QRコードを読み取ると各議員の一般質問の録画放送にアクセスできます。通信料は自己負担となりますのでご注意ください。

**問** 新しい総合窓口で具体的にどれくらい時間短縮ができるのか

**答** 3つの窓口を設けて待ち時間をゼロにしていきたい



三上周治

新庁舎総合窓口について

**問** 総合窓口は市民にとってどのように便利になるのか。

**市長** 「書かない」「待たない」「回らない」を筆頭に全てが便利になっていく。

**問** 「書かない」「待たない」「回らない」というコンセプトでどのように市民の負担が軽減されるのか。

**市長** 市役所が嫌だ、面倒だと思われる。それをゼロにしたい。ゼロになれば市役所が近くなって便利になっていく。

**問** 窓口サービス改善に向けた準備は整っているか。

**市長** これから急いでと思っている。職員のメンタルにも気を配りながら来年退職される方プラス10人の採用をしたいと思う。

新たに配置する総合コンシェルジュの役割について

**問** 総合コンシェルジュの具体的な役割は何か。

**市長** ワンストップのキーパーソンになってもらいたい。

新庁舎全体の改善について

**問** 新庁舎になることで、市役所のサービスがどのように改善されるのか。

**市長** 一つ目は「使いやすさ」二つ目は「災害拠点機能」三つ目は「本庁舎へ集中」四つ目は「エレベーターが3基設置されること」

**問** 市が精神障がい者の医療費を助成し、1割負担で受診可能にしてほしい

**答** 来年4月から、助成をしていきたいと思う



仁熊進

農家への支援について

**問** 全国的に米が不足しているが市内の現状と市長の考えはどうか。

**市長** 大変逼迫した状況になっていて非常に心配している。1日も早く新米が市場に出回ることを願っている。また、JAの買取価格が高値をつけているので消費者に打撃を与えないようにと思っている。

**問** 市内の米の作付面積と収穫量は、ここ10年でどのように変化しているか。

**市長** 10年前と比較した場合、作付面積は230haの減少で率にして83.7%、収穫量は850トンの減少で率にして88.2%で、どちらも減少している。

**問** 総社市農業ビジョンには良い施策がたくさん書かれているが、実際に予定どおり実施されているのか、早い段階での検証が必要なのではないか。

**市長** 農家に一番足りないのは担い手だと思っているので、農地を手放したい人と代わりに作ってあげるよという人のマッチングを市が全面的に介入して助けていきたい。

新庁舎の活用について

**問** 議会棟下に設けられるカフェスペースとギャラリーの具体的な使い方はどうか。

**市長** カフェは障がい者団体が運営を、ギャラリーは展示スペースとして多くの方に使ってほしい。ルールは今後考えていく。

**問** 砂川公園の施設整備でトイレの改修、洋式化・水洗化の進捗状況はどうか

**答** トイレ改修の進捗はしていない。財政管理をしながら進めていきたい



森安健一

公園設備について

**問** 砂川公園の利用者が増加しているが現状を把握しているか。

**市長** 利用者は令和3年度から令和5年度は平均4万人、キャンプ場利用者は平均2万人と多くの方に利用していただいている。

**問** 施設の整備計画概要、進捗状況はどのようになっているか。

**市長** 令和3年度に策定した公園施設長寿命化計画により令和4年度に東屋とブランコの修繕、令和5年度にウォーター滑り台と注水槽の修繕、令和6年度には給水設備ポンプ工事を予定している。

**問** 公園施設整備について古い公園の今後の整備整理計画は考えているか。

**市長** 遊具は国の補助金などを活用し例年3千万円程度かけて行っている。古くなった遊具については、管理団体等で撤去している。

災害対策について

**問** 豪雨災害、地震災害の現状対策はどうか。

**市長** 6年前の豪雨災害から国、県、総社市が353億4千万円かけて排水機、ポンプ施設、国道180号線の嵩上工事を実施している。

**問** 市内に設置している下水道マンホール蓋の安全性はどうか。また、安全なものに順次交換してはどうか。

**市長** 本市は汚水、雨水に分かれているため安全であり、老朽化した蓋は随時取り換える。

**問** 新しい市役所をどういったものにしていきたいのか。市長の考えはどうか

**答** 市役所は市民のもの。愛着をもっていたきたい。その努力を惜しまない

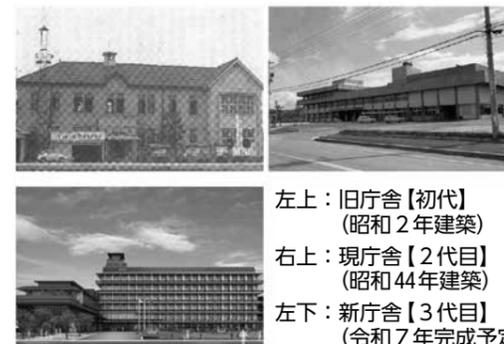


山田雅徳

総社市役所庁舎について

**問** 総社市役所庁舎の歴史を振り返りどう感じているのか。

**市長** 市民の拠点として、いろいろな歴史を経て、よく頑張ってくれたと思う。



左上：旧庁舎【初代】(昭和2年建築)  
右上：現庁舎【2代目】(昭和44年建築)  
左下：新庁舎【3代目】(令和7年完成予定)

**問** 新庁舎開庁までの予定はどうか。

**総務部長** 新庁舎の開庁予定は4月21日。工事完成予定は2月28日。開庁日前の土日を使い、現庁舎から備品を搬入する予定。

**問** 新庁舎をお披露目するオープニングイベントを開催してはどうか。

**市長** 3月9日に竣工式を開催したい。あわせて新庁舎の内覧会も検討したい。

**問** 長い歴史に幕を下ろす庁舎で、お別れイベントを開催してはどうか。

**市長** お別れをする機会はつくりたい。

**問** 新庁舎で使用しない備品等を市民や団体に譲渡し有効に活用していただかないか。

**市長** 残すものを早めに選定し、検討したい。

**問** 大型事業を計画した際には地元住民に対し丁寧な説明が必要ではないか

**答** 大型事業を行う際にはできる限り説明会を行い、周知徹底していきたい



溝手 宣良



**問** 児童発達支援・放課後等デイサービスの支給「原則月5日」を見直さないか

**答** 月1～23日と柔軟に対応できる周知と日数の表記は今後検討していきたい



山名 正晃



いじめ問題について

**問** いじめ被害者と加害者のどちらの将来がより守られるべきかと思うか。

**教育長** 双方大事だと思っている。

**問** なぜ被害者を守る措置ができないのか。

**教育長** 加害者への指導も大切だ。

**問** 自分たちの理想を被害者側に押し付けられないでいただきたい。

**教育長** 人間関係の回復を目指すのが教育。

企業誘致について

**問** 西阿曾地区の開発区域に関し広報そうじゃ8月号の表紙に「雇用の創出・地域活性化につなげる」とうたっているが、何人程度の雇用を見込んでいるのか。

**市長** 総社市民の採用募集をお願いする。

**問** 何が地域活性化につながるのか。

**市長** 総社市への税収増が見込まれる。

**問** 具体的なものは何もないのか。

**市長** 共に頑張っていきましょうよ。

**問** 西阿曾地区で市長自ら将来展望や経緯、経過などを説明していただけないか。

**市長** 要望があれば行かせていただく。

日本一やさしい市役所について

**問** ガラス張り公開市長室の再開や大規模事業の説明会など市民の意見を聞く必要があるのではないか。

**市長** ガラス張り公開市長室を再開する。今後は地元説明会を行っていく。

**問** 事業所数が足りず、療育を受けたい子ども達が受けられない現状をどう考えるか。

**教育長** 適切な療育を提供できる事業所確保は重要な問題。今後市内で対応する事業所があれば積極的にこちらから相談していく。

**問** 通級指導教室と療育を併用できないか。

**教育長** 支援方針の一本化、複数箇所からの指導による混乱を防ぐ一方、子どもの活動幅が広がり、多くの経験を得られる。保護者も相談先が増え心理的負担が軽減される面もある。今後通級指導教室、所属校、療育事業所との連携を深める方策を協議していきたいが、利用者増による人員確保の問題もある。

**問** 不登校支援のため放課後等デイサービスと教育現場で連携の強化はできないか。

**教育長** 学校と事業所の連携支援は大変効果的なこと。子どもの状況に合わせた支援ができるよう重要性の周知、保護者・学校・事業所の一層の連携を深めていきたい。

**問** 日常生活用具給付事業に療育支援器具を対象にし、購入助成を行ってはどうか。

**市長** 大切なことなので前向きに検討する。

小児医療について

**問** 集団フッ化物洗口事業の考えはどうか。

**教育長** 様々な意見もあるので歯科医師会や学校から意見を聞き慎重に検討していく。

**市長** 医療費削減や子どもにとって良いことならば、どんどんやってほしいと考えている。

**問** 市民が日常に健康を意識できるメッセージを定期的に発信してはどうか

**答** これやっていきましよう



頓宮 美津子



災害対応について

**問** 市主催のイベントに対して災害時(特に地震に関して)避難誘導や、避難計画を策定すべきだがどうか。

**市長** 市のイベント、特にマラソンの最中に大きな地震が来た場合の誘導や避難計画が必要。地震発生におけるイベントの危機管理マニュアルを作る。

認知症対策について

**問** 今後、高齢化が更に進み認知症が増え施設に入れられないことが予想される。また、介護・看護現場での離職率も高くなっている。その対応策としてフランス発祥の優しい認知症ケア技術「ユマニチュード」の導入をしてはどうか。特に認知症サポーターのステップアップ講座や介護事業所への紹介、認知症の理解のための市民向けの講座など有効性がある。また子どもへの研修を行っている福岡市では、いじめにも効果があったとされるがどうか。

**市長** しっかり研究していきたい。



日本ユマニチュード学会HP引用・作成

**問** 放課後児童クラブ運営について相談できる体制を取っていく方針はないか

**答** 設置運営基準を都度改定しシステムとして運営していきたい



太田 善介



救急の映像通報受信システムについて

**問** 映像通報受信システムの導入についてどのような課題があるのか。

**消防長** プライバシーの問題と動画を送信するために料金がかかる。また、スマートフォンの環境や操作については課題が残る。

**問** 映像通報受信システムに関して十分な広報が必要ではないか。

**消防長** 進歩が著しい分野であるので、ホームページやSNS、広報紙を使って操作手順などを周知していく必要がある。

市の財産の貸出について

**問** 現在、市が所有する財産のうち、貸出可能な財産のリストなどはあるか。

**市長** 現状ではない。ただし、各課単位ではある。

**問** 市の財産の貸出に関するガイドラインの考えはどうか。

**市長** 貸出可能なものは貸していく考えはある。ガイドラインは作るべきだと考える。

放課後児童クラブ運営について

**問** 運営についての問題点などを把握しているか。

**教育長** 職員の勤務や報酬の問題など内規的な問題があることは把握している。

**問** 運営について問題が発生した場合のガイドライン等はあるか。

**教育長** 今後も改定していく必要がある。

総務生活委員会

《9月定例会》

当委員会では審査した案件は、9月定例会では議案12件であり、全て原案どおり可決しました。(意見5件は推薦に同意、請願1件は採択)

主な内容は次のとおりです。

●令和6年度総社市一般会計補正予算(第3号)(議案第73号)(所管部分)

問 職員の退職手当について、何名分計上しているのか。

答 当初予算では、昨年度60歳を迎えた方の中で、61歳まで定年延長され、今年度末に退職となる2名分の4千万円を計上していた。

補正予算においては、今年度末で60歳を迎える方で定年延長を希望されない方や早期退職者を含めて7名分計上している。

問 デジタル化推進事業の受付番号発券呼出システム導入について、詳細はどうか。

答 現段階では、受付番号発券呼出システムは新庁舎1階の全ての課に設置予定としている。窓口カウンターにはモニターを設置するが、職員側と市民側両方に設置が必要で、北側カウンターに職員用2台、市民用2台、南側カウンターには職員用3台、市民用3台設置予定である。

また発券用のタッチパネルは入口4箇所それぞれ設置予定としている。

●一般会計決算審査特別委員会総務生活分科会

◎令和5年度一般会計歳入歳出決算認定(認定第1号)(所管部分)

問 シティプロモーション委託料について、内容はどうか。

答 市の魅力発信、また移住・定住をメインテーマにしたプロモーションであり、委託先からの企画提案によりお笑いコンビ「蛙亭」に出演いただき、人口増につながるよ

う「鬼でも住めるまち総社」というキャッチフレーズで動画を作成した。

約70秒の動画であり、本市が「子育て王国」を掲げ子育て支援が充実していること、また障がい者雇用や外国人に對し優しいまち、誰でも安心して住めるまちであるとか、特産品のフルーツなども紹介しながら、田舎と都会が融合した暮らしやすいまちというところをアピールした。

問 井原鉄道経営基盤整備補助金について、令和4年度に比べ増額しているが、今後増額されていくのか。

答 令和5年度の増額分については、南海トラフ地震に備えた耐震補強工事によるものであり、令和5年度から5箇年計画で行われている。耐震工事で総社市の負担は約8百万円の増額となったが、5箇年計画であるのでその期間内はおおむね毎年度8百万円は上乗せされることになる。

ケースも多くあった。

問 地域づくり自由枠交付金について、予算が4百万円程度未執行となっている理由は何か。

答 地域一元化支援準備金などに対する予算として計上していたが、事業が実施されれば執行できる内容のものであり、各協議会において事業実施がなかったため執行残となっている。

問 河川用監視カメラ設置委託料として4百万円程度執行されているが、どういったところに設置したのか。

答 横谷川鸚鵡橋と、作原排水ポンプピット、砂古ゲート、軽部川軽部神社付近、足守川鬼ノ城橋の5箇所に設置した。

◆8月定例委員会です所管事務調査を行った案件は次のとおりです。

調査事項

- ・ふるさと納税について(議会事務事業評価)
- ・公共施設の管理・運営につ

いて

報告事項

- ・新庁舎建設工事の進捗について
- ・新庁舎総合窓口について
- ・消防指令台及びデジタル無線の整備について
- ・マイナンバーカードを活用した救急搬送実証事業への参加について

文教福祉委員会

《9月定例会》

当委員会では審査した案件は、9月定例会では議案12件であり、すべて原案どおり可決しました。(請願1件は採択)

●令和6年度総社市一般会計補正予算(第3号)(議案第73号)(所管部分)

問 高齢者補聴器助成事業の対象者、要件、申請方法等はどうか。

答 対象者は65歳以上で総社市に住民票があり居住している方で、住民税非課税世帯で

市税に未納がないこと、医師から補聴器が必要と判断された方である。

申請には医師が作成した診療情報提供書、認定補聴器技術者または認定補聴器専門店が作成した見積書が必要で、申請、交付決定後、見積書と同じ補聴器を購入したものが対象となる。

申請にあたっては、まず長寿介護課の窓口にお越しいただき、説明させていただきながら購入を検討していただきたい。

●令和5年度総社市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について(認定第2号)

問 一般被保険者の療養給付費の総額は下がっている。また、被保険者数の減少により一人当たりの医療費は高くなっている。この理由は何か。

答 被保険者が後期高齢者に大量に移行している期間のため、国民健康保険の被保険者が減っていることが一点ある。

問 消費生活対策経費について、令和5年度において総社市内で詐欺等の被害状況や対応件数についてはどうか。

答 消費生活センターに相談があった件数は令和5年度で290件であった。令和4年度は270件であったため、20件増加している。相談内容では、通信販売でのトラブルが86件と最も多く、次いで店舗の商品を買ったが思っていたものと違っていたというような相談が50件、電話勧誘に関するものが25件であった。実被害としては、80代の高齢女性が警察官を名乗る者にキャッシュカードをだまし取られ120万円の被害にあり、50代女性がFX投資名目の詐欺で780万円をだまし取られたという話を聞いている。

実被害も出ている中で、電話等で相談があったものについては、対応方法を示すことで被害を未然に防いだという

もう一点は、社会保険の適用拡大によって非常勤の方が社会保険へ加入できるようになった結果、国民健康保険の加入者が減ったという状況があると捉えている。一人当たりの医療費が高くなっていることについては、高齢化と、もう一点は医療の高度化によって医療費が高くなっていると考えられる。

●令和5年度総社市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について(認定第4号)

問 要介護(要支援)の認定数は156人と一気に増加しているが、その理由は何か。

答 要因として、令和元年度から令和4年度までは新型コロナウイルス感染症が関係して申請の差し控えがあり、令和5年度になって活動が活発になり、認定を受けようとする方が多くなったと考えられる。また、要介護(要支援)認定の中でも、要支援者の認定率が大幅にアップしており、団

塊の世代が後期高齢者になるにつれて、支援を必要とする方が増えはじめているのではないかと考えている。

● 一般会計決算審査特別委員会 文教福祉分科会

◎ 令和5年度一般会計歳入歳出決算認定(認定第1号)

(所管部分)

問 小児医療費について、中学校3年生まで無償化となったがこの医療費の伸びをどう考えるか。

答 前年度より約7千万円の増額となっている。中学生の通院費を完全無償化するため当初千5百万円の増額を見込んでいたが、その他の約5千5百万円の増は特殊要因によるものと考えている。新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことにより医療費の一部が自己負担になったこと、またインフルエンザが通年流行したこと、その他の感染症も軒並み前年度より多かつたことで医療費の伸びが非

産業建設委員会

《9月定例会》

当委員会で審査した案件は、9月定例会では議案11件であり、全て原案どおり可決しました。

主な内容は次のとおりです。

● 令和6年度総社市一般会計補正予算(第3号)(議案第73号)(所管部分)

問 道路河川サーバーはどのようなものか。

答 GISのバックデータ保存等に使用するための内部事務用のサーバーである。

● 令和5年度総社市水道事業会計決算認定について(認定第6号)

問 配水管工事建設改良事業について、施設全体の老朽化が進んでいるため、管路や施設の更新(耐震化)を進めていく必要があるとのことだが、執行率が67.2%にとどまった理由は何か。

答 令和5年度から令和6年

常に高かった。また調剤費も増えており、医療技術の進歩も医療費増加の要因と見込んでいる。

問 がん患者医療用ウィッグ等購入費の助成について、利用者は何人か。広く市民の方に使っていたらどう広報活動等したのか。

答 ウィッグについては25件、乳房補整具は3件であった。年々利用者が増えている状態であり、市民の方が必要としている補助と考えており、適切に広報していきたい。

問 小学校費の感染症対策事業の執行率が約45%となっている。国庫補助金を有効に活用して空気清浄機等の購入に充てると記載があるが、これで各学校の感染リスクを最小限にする施策が終了した、どの学校も同じようにできたということか。

答 この補助金の対象事業は、通常時の効果的な換気対策に関わるもの、感染拡大時の学度にかけて繰越しを行ったことや、入札において落札金額が想定よりも低かったことにより、この執行率となった。繰越分を含めると約90%の執行率になる。

問 企業債の発行額が元金償還額を超えており、企業債残高が増えている。企業債残高が増え続けている理由をどのように考えるか。

答 近年、配水池等の大型施設整備を行ったことから、企業債残高が増えている。企業債残高を増やし続けるわけにはいかない。注視しながら、今後場合によっては料金改定も見据えていかなければならないと考えている。

● 一般会計決算審査特別委員会 産業建設分科会

◎ 令和5年度一般会計歳入歳出決算認定(認定第1号)

(所管部分)

問 動物愛護事業について、マイクロチップ装着の補助金を当初150件分計上していたが、30件の実績になったこ

校閉鎖の際に教育活動を継続するための体制整備に関わるものの2種類あり、それぞれ半分の割合で各学校に交付されたものである。しかし学校閉鎖となるような感染拡大はなかったため、その分の予算執行はできなかった。児童数に応じて各学校への交付額が異なるが、その中で補助対象として買えるものを各学校が判断して購入したものである。

給食を食べていない方を対象に、不公平がないよう給付したものである。

● 8月定例会委員会及び9月定例会市議会会期中の委員会等所管事務調査を行った案件は次のとおりです。

調査事項

- そうじゃ吉備路マラソンについて(議会事務事業評価)
- 登下校時における安全管理と通学見守りについて
- 小・中学校のトイレ環境について
- いじめに関する対応について

報告事項

- 病院施設整備補助事業について(長野病院、薬師寺慈恵病院)
- 中学校・義務教育学校後期課程 情緒障がい通級指導教室について
- 令和8年度からの中央保育所の運営等について
- 旧維新小学校・維新幼稚園の跡地利用について

とについて分析しているか。

答 令和4年10月に開始した事業であるが、以前からマイクロチップの装着をする意思があった飼い主については、おおむね補助を受けており、現在は新たに飼い始めた飼い主で、装着の意思がある方が補助を受けていることが要因であると考えている。ただ市としても、市内の動物病院へのチラシ配布や広報紙への掲載など、これから広報に力を入れて取り組んでいきたい。

問 有害鳥獣対策事業で、イノシシの捕獲数が少ない理由は何か。

答 捕獲数が多い年の翌年の捕獲数は少なくなるという傾向があり、見込みより少なかったためである。

問 先進的技術支援事業補助金について、具体的にどのようなことを行ったのか。また執行率が半分ほどになった理由は何か。

答 主に桃の生産組合がカラ

スの被害に対応するために、カラスの嫌う音等を流すシステムを導入する費用の補助を行った。執行率については、要望を受けてはいたものの、金銭的な負担もあることから、実際の導入に当たり希望数が減ったため、このような執行率になった。

問 用途地域の見直しについて、全体を見直したのか、一部特定地域を見直したのか。

答 都市計画区域全体の用途地域の見直しを行った。今後県と協議する予定である。

◆ 8月定例会委員会等所管事務調査を行った案件は次のとおりです。

調査事項

- 赤米フェスタについて(議会事務事業評価)
- 市内のごみの状況について

報告事項

- 第1回史跡山古墳調査指導委員会の内容について



## 総社市議会に ようこそ!



### 新本小学校3年生15名が議場見学

令和6年7月8日に社会見学の 일환で議場に見学に来られました。

「なぜ市役所が作られたのか?」「市役所を作るのにどのくらいお金がかかったか?」

「市役所玄関まえにあるコールドレンポストはどうして作られたのか?」

など、たくさん質問があり、議場に子どもたちの元気な声が響きました。

### 議員さん気分



### インターンシップ生20名が議場見学

令和6年9月3日にインターンシップ研修の二環で議場に見学に来られました。

インターンシップ生は岡山県立大学、くらしき作陽大学、中国学園大学、環太平洋大学、ノートルダム清心女子大学など、1年生6名、2年生1名、3年生12名、4年生

1名、学校も学年も学部も違う学生たちが真剣な面持ちで来られました。

「三元代表制において議会の必要性はなにか?」

「総社市は女性議員は何人いるのか?」「女性が議員になることはどう思うか?」



などの堅実な質問があり議員たちもそれに対して真摯に答えていました。

その後議場内で、好きな席に座り議長になりきったり、市長になりきって写真撮影を楽しんでいました。

writingdesigner@k田



## 編集後記

広聴広報委員会では、市民の皆さまに読みやすく分かりやすい「議会だより」をお届けできるように心がけて紙面づくりに励んでいます。その過程において、議員一人一人の協力はもとより議会事務局の協力も欠かすことができません。議員と議会事務局が一丸となって制作していますが、紙面には限りがあり、議会のすべてをお伝えすることができていません。

来年度から新議会棟の運用が始まります。半世紀にわたって議論してきた現議場の使用も残すところわずかとなりました。この機会に思い出として生の議会を傍聴され、目・耳・肌で歴史を感じ取っていただければ幸いです。議員一同、皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

(仁熊進)

◆広聴広報委員会のメンバーは次のとおりです。

- 委員長 高谷 幸男
- 副委員長 荒木将之介
- 委員 山名 正晃
- 委員 太田 善介
- 委員 森安 健一
- 委員 仁熊 進
- 委員 岡崎 亨一